

平成15年2月28日

関 係 各 位

東京都新宿区四谷一丁目2番8号
 高千穂 交易 株式会社
 代表取締役社長 山村 秀彦
 (登録銘柄コード・2676)
 問い合わせ先
 取 締 役
 経営システム本部長 赤堀 寛人
 電話 03-3355-1189

平成15年3月期通期の業績予想(連結・単体)の修正について

平成14年11月12日付当社「平成15年3月期中間決算短信」で発表いたしました平成15年3月期(平成14年4月1日~平成15年3月31日)の業績予想(連結・単体)を、下記のとおり修正いたします。

記

1. 連結業績予想の修正(平成14年4月1日~平成15年3月31日)

(単位:百万円)

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 利 益
前 回 予 想 (A)	21,860	921	506
今 回 予 想 (B)	21,467	686	370
増 減 額 (B - A)	392	234	135
増 減 率	1.8%	25.5%	26.7%
前期(平成14年3月期)通期実績	19,773	683	793

2. 単体業績予想の修正(平成14年4月1日~平成15年3月31日)

(単位:百万円)

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 利 益
前 回 予 想 (A)	20,613	831	463
今 回 予 想 (B)	19,929	720	378
増 減 額 (B - A)	683	110	84
増 減 率	3.3%	13.3%	18.2%
前期(平成14年3月期)通期実績	18,982	676	795

3. 修正理由

当事業年度は、厳しい経済情勢が続くなか、下半期に入り、企業の設備投資の絞込みや個人消費の腰折れ懸念が強まるなど、予想していた以上に厳しい経済情勢を受け、業績に影響が出る見通しであります。

(1)売上高につきましては、システム機器事業セグメントでは、セキュリティ事業がドラッグストア業界など全般的に好調な推移で、前年比約 43%増と前回予想を上回る見込ですが、回復を期待しておりました情報ネットワーク事業は企業の投資抑制及び新商品発売遅延の影響を受けて、前年比約 23%増ながら前回予想を大きく下回るほか、メーリングシステム事業では発送代行業を中心とした投資抑制の影響が大きく、前年比約 52%減と前回予想を大きく下回る見込みで、当セグメントは、前年比約 22%増ながら前回予想を若干下回る見通しであります。

一方、デバイス事業セグメントでは、堅調でありました半導体事業でPC需要減などによる生産調整の影響があり、前年比約 4%増で前回予想を若干下回り、当セグメントは前年比約 4%増の見込みですが、前回予想を僅かに下回る見通しであります。

そのため、連結売上高は、平成 14 年 10 月 1 日付で全株式を取得した(株)エスキューブ(旧:クボタセキュリティ(株))の増収効果がありましたが、前年比約 8%増で前回予想を若干下回る見通しであります。

(2)利益につきましては、粗利益率は前回予想より約 0.3 ポイント下がる見通しで、(株)エスキューブ関連の販管費増や商品評価損約 100 百万円が見込まれ、経常利益は前年比微増で前回予想を下回る見通しであります。

また、当期純利益は、米国株価低迷からナスダック上場の投資有価証券売却を見送る一方で、国内金融株を中心とした投資有価証券評価損が約 60 百万円程度見込まれることから、前年比約 53%減となり前回予想を大きく下回る見通しであります。

当社は、引き続き新規商品の投入や新市場の積極開拓などの施策を進め、好調なセキュリティ事業や半導体事業の増強を中核とする事業強化を図り、業績の向上に努めてまいり所存であります。

以 上